



KK 暮らし
デジタル TERA 小座

江戸時代の侍子屋をヒントに、今、そしてこれから「どう生きるか」
デジタル時代におけるTERAサイズの学びの場で考えてみませんか？

自宅で母と夫を看取り、～「介護」が愛おしい～ 一人になってしみじみ思うこと

「介護って、何することなのか分からない」「大切な人の看取り、寄り添いたいけど仕事を離れて介護に専念なんて無理」「少子高齢化、人手不足、自分の老後は、誰が介護してくれる」…「介護」という言葉には、どの世代にも様々な思いがあります。介護の在り方も生活の考え方も、100人いれば100通り、人間誰しも巡る人生の終わりのこと、76歳の藤原さんは、どう受け止めどう向き合ってきたのでしょうか？

40代で管理職を務めながら母の介護と看取りを経験し、最近ではレビ一小休生活知恵の夫の在宅介護を続け、自宅で看取りまでを続けた新著『いのちの声： 八高治久に伴走した日々』を発行した藤原さんの、長年の介護経験や人生観に照らし、「介護と看取り」について一緒に考えてみませんか？

2023年

11/30 (木)
18:30～19:45

「終了後、交流お時間 20:30まで ※会場のみ」

プログラム内容（予定）

- オープニング・ゲスト紹介
- TERAのイベント・トーク
- 皆さまの思い！ インタビュー
- みんなの集いQ&A
- 交流会（会場のみ）

※本場参加の皆さまとは異なる内容に変わります。トーク内容は参加が義務ではありません。

KKの番組またはライブ参加のどちらかを
お楽しみください



著者
藤原 瑠美さん
1947年生まれ。東京大学文学部卒業。読者誌に入社。読者のための在宅介護、看取りの場
に活躍し、スウェーデン・エストニアの視察旅行を経て、2013年にニルスの園の認知症
ケア 京都から暮らしに転換し、スウェーデン・ドメス社にて医療ジャーナリスト・総合編集者
2015年、国際医療福祉大学大学院で医療福祉ジャーナリズム学の博士号を取得。その後書誌「ボ
ンママからの贈りもの」発行者の在宅介護の認知症ケアの園の高齢ケア ～エーデン改革か
ら15年目のスウェーデン』
*2010年「第11回」ベスト・エッセイ賞

ゲストエキスパート



氏名
藤原 瑠美さん スウェーデン福祉研究者 医療福祉ジャーナリスト

1947年東京生まれ。東京大学文学部卒業。読者誌に入社。読者のための在宅介護、看取りの場
に活躍し、スウェーデン・エストニアの視察旅行を経て、2013年にニルスの園の認知症
ケア 京都から暮らしに転換し、スウェーデン・ドメス社にて医療ジャーナリスト・総合編集者
2015年、国際医療福祉大学大学院で医療福祉ジャーナリズム学の博士号を取得。その後書誌「ボ
ンママからの贈りもの」発行者の在宅介護の認知症ケアの園の高齢ケア ～エーデン改革か
ら15年目のスウェーデン』
*2010年「第11回」ベスト・エッセイ賞

モデレーター

氏名
伊庭野 基明さん KK?グローバルキャリアカウンセラー



このプログラムは、PCやスマートフォンで、Question・コメント・アンケート回答ができる
TOPP(デジタル・プレゼンテーションプラットフォーム)を活用した双方向参加型です。
会場参加の方は専用PCやスマートフォンをお持ちいただきご参加ください。

*特別価格：¥6,507,328円、¥6,582,262円、¥7,231,166円

『オンライン投票』
『チャット』で共に考えよう！

03-3288-1921
kk2seminar@avcc.or.jp
